

## 2022年5月度 高島屋店頭売上速報

### ■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+244.5	立 川 店	+51.3
堺 店	+69.8	大 宮 店	+11.5
京 都 店 ※	+78.9	柏 店 ※	+14.7
泉 北 店	+73.9	(株) 高 島 屋 各 店 計	+66.6
日 本 橋 店	+64.0	岡 山 高 島 屋	+46.6
横 浜 店 ※	+14.9	岐 阜 高 島 屋	+28.8
新 宿 店	+96.4	高 崎 高 島 屋	+16.0
玉 川 店	+67.6	(株) 高 島 屋 各 店 お よ び 国内百貨店子会社計	+63.3

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

### ■ 概況

○5月度の店頭売上は、前年度の一部店舗における生活必需品売場を除いた休業の反動や、外出機会の増加に加え、高額品が引き続き好調に推移したことから、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比 +63.3%	2019年比 △6.7%
免税売上	前年比 +105.5%	2019年比 △77.6%
免税を除いた店頭売上	前年比 +62.6%	2019年比 +0.1%

○店舗別売上では、全店で前年実績を上回りました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、全商品群が前年実績を上回りました。

※前年度の店舗別休業日数(生活必需品売場を除く):大阪店、堺店、泉北店、日本橋店、新宿店、玉川店、立川店 各31日間

京都店 17日間、岡山店 5日間